



The CLPA Times



The Extra Issue

Wednesday, December 1, 2004 Published by CLPA.

Global Scalability

～世界へ挑む、世界が認める、CC-Link～

日本発&初のオープンフィールドネットワーク、CC-Link。そのグローバル展開の勢いが止まらない。わけても注目したいのが、各種規格の認証取得の動向だ。すでにCC-Linkは、半導体・FPD業界の国際規格である SEMI_E54.12 認証を2001年に取得済みである。そしていま、さらなる認証取得の可能性を拡大している。

世界で、中国で認証取得の期待広がる、CC-Link!

まず、中国戦略に欠かせない中国国家標準・GB/Zの認証活動の動向を探ると、CC-Linkは、今年、5月31日に開催された全国工業過程測量及び制御標準化技術委員会 (SACS/TC124) において圧倒的多数で投票可決。現在、中国政府機関で最終審査中だ。また、国際標準・ISO15745の認証活動では、今年4月29日、TC184/SC5/WG5 アプリケーション統合フレームワークへのエントリー可決。国際会議で技術審議継続中である。その他、韓国「KS」など国家規格への認証も期待高まるCC-Linkから、ますます目が離せない。

パートナー605社の約半数が、海外会員に! CC-Link協会!

世界標準の道をひた走るCC-Link。そのグローバルな可能性を積極的な普及活動でバックアップするのが、CC-Link協会 (CLPA) である。その勢いの指標ともいえるパートナー会員数も、いまや605社。しかも、そのうち、海外パートナー数が322社と大幅にアップし、全体の53.2%を占めるに至った。今後も、市場が拡大する中国・韓国を重点とした活動展開により、CLPA設立5周年となる2005年には、◎会員数:700社 ◎製品数:700機種 ◎出荷ノード(製品)数:300万ノード以上をめざしている。



世界で、中国で認証取得の期待、CC-Link!

国際標準・ISO15745の認証活動

TC184/SC5/WG5アプリケーション統合フレームワークへのエントリー可決 (2004.4.29)!

▶ 国際会議で技術審議継続中!

中国国家標準・GB/Zの認証活動

全国工業過程測量及び制御標準化技術委員会 (SACS/TC124) にて圧倒的多数で投票可決! (2004.5.31)

▶ 中国政府機関で最終審査中!

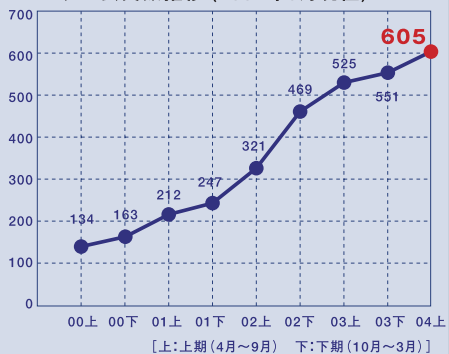
半導体・FPD業界の国際標準

SEMIE54.12

▶ 2001年5月に取得済み!

その他、韓国「KS」など国家規格への認証活動

パートナー会員数推移 (2004年9月現在)



CC-Link Solution

Top runners of semiconductor factories already start EES! CC-Link is the best solution for it!!

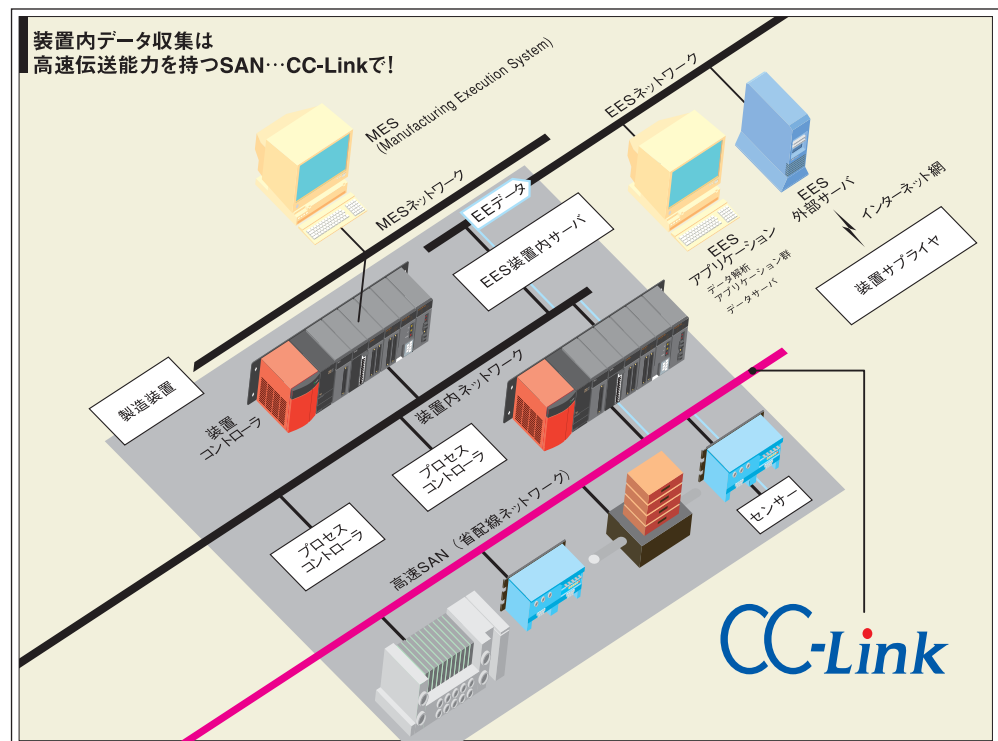
先進の半導体メーカーはEESを始めている! そのベストソリューションはCC-Link!!

多品種少量生産に伴い、ますますプロセスのバリエーションが増大する一方の半導体製造分野。そのような状況の中、製品のクオリティを落とさずに生産性の大幅な向上を実現するには、単なる歩留まり・大口径化・微細化に止まらず設備全体の実稼働率を高めることが急務となっている。そうした課題を解決するソリューションとして注目されているのが、装置全体のデータを収集しプロセス制御、装置の状態管理を行うEES (装置エンジニアリングシステム) である。

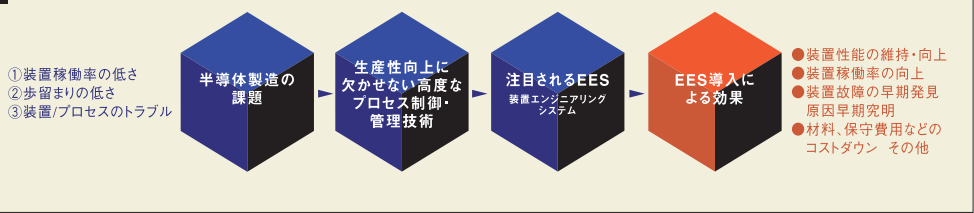
実稼働率向上の切り札、EES (装置エンジニアリングシステム)。

EES (Equipment Engineering System) とは、装置の性能改善など、装置エンジニアリングの特定領域を扱うアプリケーションを物理的に実装したシステムである。EESを用いてプロセスデータ、設定データ、稼働状態データ、保全データ、装置監視データ、作業履歴など、多様なデータを常に

収集・比較し製造装置の状態を把握することで、装置の稼働ロスが少なく、歩留まりの高い、生産ラインの最適状態を知ることができる。そして、その状態を基準とした信頼性の高いプロセス制御・管理を実現し、装置性能の維持・向上、装置稼働率の向上、装置故障の早期発見、原因早期究明、材料、保守費用のコストダウンなど数々の効果を生産ラインにもたらすのである。



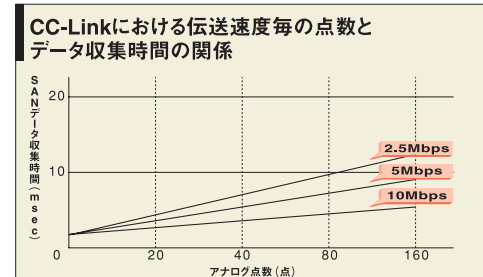
実稼働率向上の切り札、EES (装置エンジニアリングシステム)。



EES成功の鍵は、最大10Mbpsの伝送速度を誇るCC-Link。

EES実現のキーポイント、それは何といたっても装置内のデータ収集力である。高度なプロセス制御・管理を実現するためには、プロセスデータ、設定データなど多岐にわたるデータを、10ms毎という高頻度で収集しなければならない。そして、当然ながら装置性能に影響をあたえるわけにはいけない。このような厳しい条件をクリアするには、フィールドネットワークに要求される通信速度も5Mbps~10Mbpsというハイレベルなものになってくる。伝送速度最大10Mbpsを誇るCC-Linkなら、

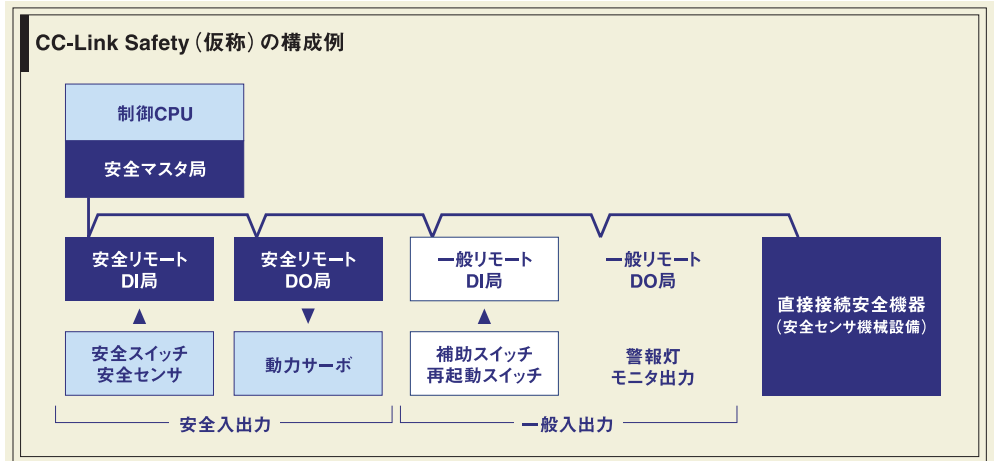
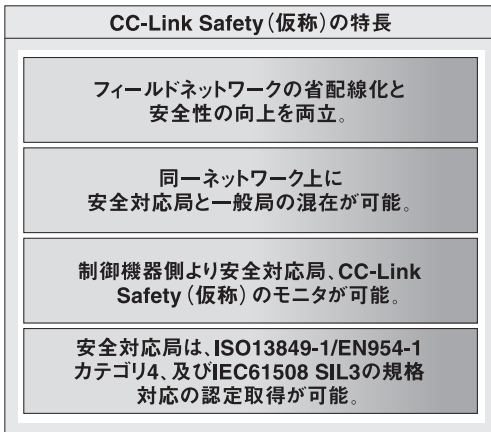
EESに必要な10ms毎の高速モニタリングが可能である。優れた定時性と高速性を持つCC-LinkはEES実現のためのフィールドネットワークであるといっても過言ではない。



CC-Link Safety, this field network is new standard of manufacturing's safety!

このフィールドネットワークが安全性への新しい基準となっていく! CC-Link Safety (仮称)

ISO12100を始めとした国際安全規格制定に伴い、世界各国の工場で、安全システムの構築が急速に進んでいる。フィールドネットワークも例外ではなく、安全機器を省配線化し、安全機器間で非常停止に関わる情報を確実に通信するための高い通信信頼性、診断機能と、既存ネットワークとの接続性・親和性を併せ持つ安全フィールドネットワークが求められている。CLPAでは、このような時代の流れにいち早く対応すべく、すでにCC-Linkのオープン性、柔軟性を活かした安全フィールドネットワーク「CC-Link Safety (仮称)」の策定を始めている。

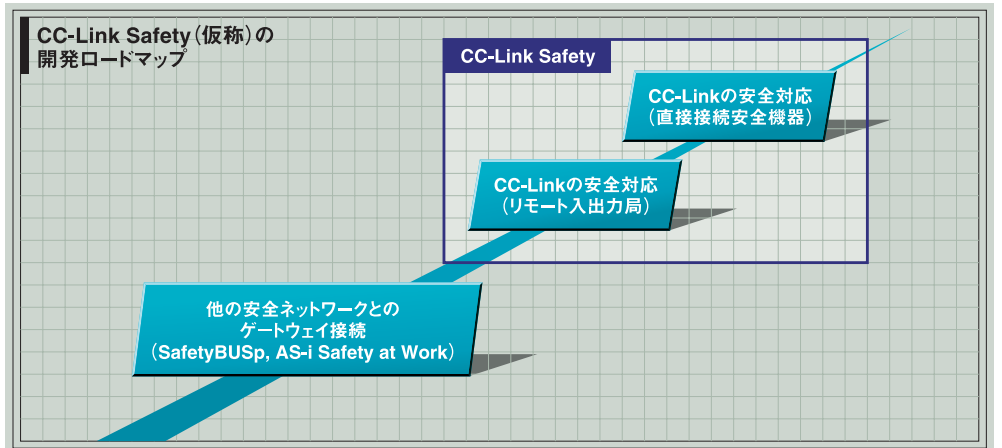


安全フィールドネットワークCC-Link Safetyの仕様策定へ、いよいよワーキンググループ始動。

CC-Link協会では、安全分野へのCC-Linkファミリーの普及拡大を図るべく、CLPAテクニカル部会の下に「CC-Link Safety WG (ワーキンググループ)」を設立。具体的な仕様策定作業を開始した。これから需要拡大が見込まれる安全分野への積極的な活動は、業界紙「オートレビュー」で取り上げられるなど各所で注目を集めている。このWGでは、現時点でのパートナー会員であるなしを問わず、広くその門戸を開き、安全分野への参入を検討しているメーカーなど多くの方々に参加を呼びかけている。(参加方法などの詳しいご案内は下記に記載)



新聞記事: WGの発足を大きく取り上げた「オートレビュー」(04.10.27付)



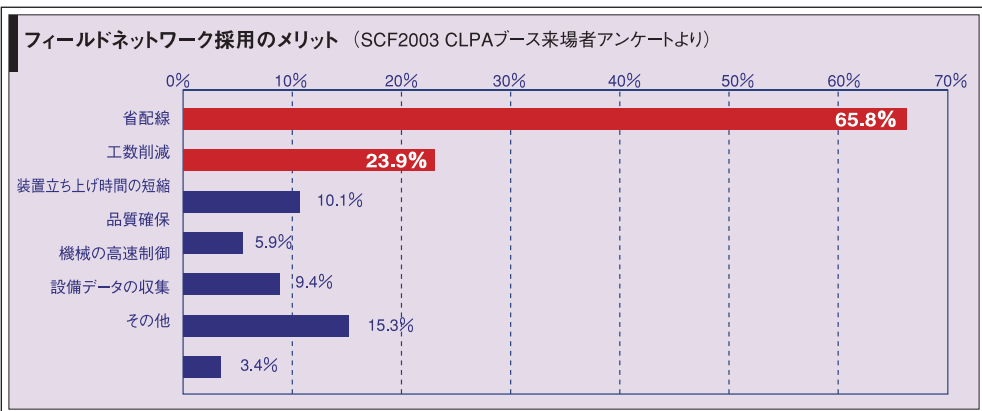
CC-Link Effect

Reducing wiring is the NO.1 task for users. CC-Link&CC-Link/LT work to the best of their potential in there too.

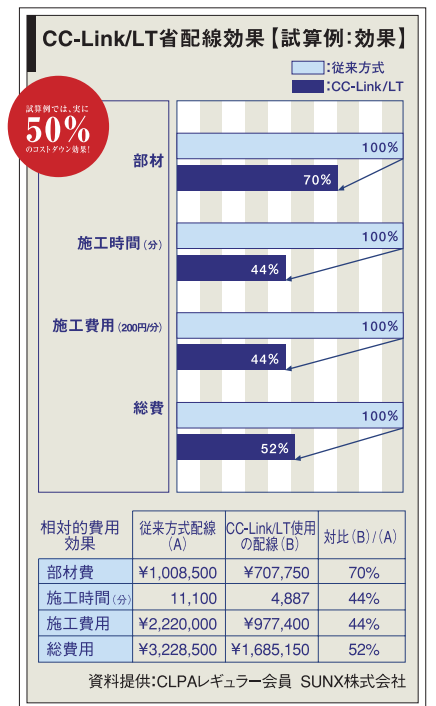
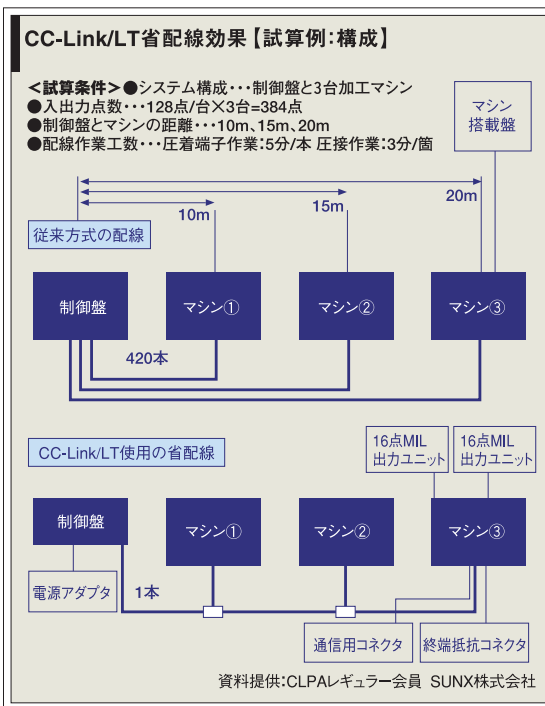
ユーザーにとっての一番の課題、省配線化。そこにもCC-Link&CC-Link/LTのポテンシャルが生きてくる!!

グローバルスタンダード化、CC-Link Safetyの開発など、次々と新しい可能性を目指しステップアップを続けるCC-Link。しかし、その一方で省配線化というCC-Linkならではのメリットを忘れてはならない。そして、昨年開催されたSCF2003 (SystemControlFair2003) において4000件を超えるCLPAブースへの来場者を対象に行ったアンケートでも、工数削減と合わせて

ほぼ全員の方がフィールドネットワーク導入のメリットとして挙げているように、省配線化と工数削減は一番切望されているニーズである。(下図参照) CLPA設立から4年が経過し、日本発&初のフィールドネットワークとして確固たる地位を築いたいま、CC-Linkファミリー躍進の基盤となっている優れた省配線・省コスト性をあらためて紹介する。



省配線化のメリットは一目瞭然! 試算例では施工費用の50%コストダウンに成功!!



まっ先に“Safety”ビジネスを先駆けよう!

CC-Link Safety WG (ワーキンググループ) 参加会社・参加メーカー、募集。

CC-Linkのオープン性、省配線性を受け継いだ安全フィールドネットワーク「CC-Link Safety (仮称)」のWGが設立されました。ますます注目の高まる“Safety”ビジネスに、新しい風を吹きこんでください。

【CC-Link Safety WG 活動目的】

国際安全規格に則った「CC-Link Safety (仮称)」の仕様策定
グローバル及びアジア地区での「CC-Link Safety (仮称)」デファクト化プロモーション活動 etc.
(CC-Link Safety WG参加社数14社(10月22日現在))

ぜひ、ご参加ください!お問い合わせはこちらまで!!

TEL:052-919-1588 E-Mail:cc-link@post0.mind.ne.jp

<http://www.cc-link.org/>

